



公明党 池上 茂樹 議員

- ①健康づくり支援について
 - (1)乳がん検診について
 - (2)はしか予防接種※(MR)について
 - (3)高額医療費の周知について
- ②障がい者支援について

質問①(1) ※マンモグラフィ検診の受診率の向上に向けた、本市の取り組みは。

答弁①(1) 平成20年度の集団検診の回数を従来の14回から16回に、2回増やし、医療機関での個別検診は、検診実施期間を2か月から3か月に拡大する。

質問①(2) MR3期・MR4期の該当者への周知は。

答弁①(2) MR3期の該当者は、小学校卒業時に啓発

※MR…いわゆる麻疹・風疹混合ワクチンのこと。2005年6月に承認され、2006年4月から定期接種として接種が開始された。
 ※マンモグラフィ…マンモグラフィ検査は、乳がんの代表的な画像診断法で、乳腺・乳房専用のX線検査。

文書を配布し、MR4期の該当者には、はがきでの通知を行う。また「広報すずか」でMR4期の予診票を折込む。接種できる医療機関の数は、54箇所になる。

質問①(3) 高額医療費は、新制度導入1年が経つが周知はなされているのか。入院時、窓口での説明の徹底をしているのか。

答弁①(3) 被保険者が、現物給付制度を知らずに、窓口で高額の自己負担額を支払う必要が生じないよう、鈴鹿医師会などとも連携を深め、より一層の周知に努める。

質問② 重度障がい者の特別支援学校等卒業後の進路先は。民設民営の施設整備の計画は。

答弁② 生活介護サービス事業所は、新たな施設整備の計画があり実現に向け国に対して働きかけを行う。



政友会 今井 俊郎 議員

- ①個人情報保護法について
- ②地籍調査について
- ③ゴミ減量について

質問① 民生委員、自治会長への転入転出者情報の開示はできないのか。

答弁① 民生委員は生活弱者への援助のため重要な役割を担っており民生委員への市民からの相談があった場合は状況に応じて対応している。自治会への加入は本人の意思で自主的に加入するものと考えている。転入者の方から自治会、自治会長に関しての問い合わせがあればできるだけ詳しい説明をさせていただく。

質問② 地籍調査は順調に進んでいるのか。

答弁② 順調に進んでいる。今後も市民のご協力をお願いしたい。

質問③-1 可燃ごみやプラスチックごみは、依然と増え続けているが、ごみ減量についてどのように考えているのか。

答弁③-1 市内業者に対して過剰包装抑制やごみ減量について、市民へは分別収集などのご協力をお願いしたい。

質問③-2 今後、ごみの排出責任を市民自らが考えていかなければいけない。鈴鹿市もごみの有料化について調査研究に取り組むことを求める。



ごみ収集車の列



政友会 市川 哲夫 議員

- ①鈴鹿市の医療体制について
 - (1)病院の現状等について
 - (2)介護予防事業について
- ②自己抑制教育について

質問①(1) 鈴鹿市での医師不足の現状は。また、鈴鹿中央総合病院と回生病院へはどういう基準で補助金を出しているのか。市民の救急医療受診への意識の啓発は。国保ドッグ受診の現状は。

答弁①(1) 医師確保の問題は、県へ要望し、三重大学医学部には、医師の派遣の陳情をする予定。救急搬送を受け入れている中央病院、回生病院には、国の基準額を参考にして交付している。最近の救急医療を圧迫し

ている要因に、救急医療の利用のしかたにあり、広報等を通じて啓発を行っている。H19年度の人間ドックは、応募者全員が受診。脳ドックは1,641名に対し247名が受診。

質問①(2) 昨年改正介護保険法が施行され、地域支援事業が創設された。その事業の実態は。

答弁①(2) 運動機能向上と栄養改善について事業を実施。来年度は口腔機能向上についても事業の実施を予定。地区社会福祉協議会等との連携により公民館等で実施している介護予防教室もある。

質問② 性に関する指導教育を問う。

答弁② 保健体育、道徳の時間をはじめとする学校教育活動全体を通じて児童生徒の発達段階を十分考慮し、家庭や地域と連携しながら進めていきたい。